

「観光英語」など 連携事業を報告

愛媛大・松山大

愛媛大と松山大による連携事業の成果報告会が2日、松山市文京町の愛媛大であり、2016年度で終了した7件が発表された。

愛媛大教育・学生支援機構の中山晃准教授は、松山大人文学部の寺嶋健史准教授や河原学園観光専門学校、川畑由美子講師と取り組んだ「観光英語」の課外授業と実践を紹介した。

将来英語力を生かした職業を目指す学生を両大学から募集し、事前講習や実

地訓練の後、松山城や石鎚山周辺での英語ガイドを実践した。参加した学生の「実は知らなかった地元のことを知り、英語で伝えようと勉強したのはいい経験だった」といった感想も披露。報告会参加者は「ぜひ大学の英語教育に取り入れてほしい」と要望していた。

障害のある学生の支援体制づくりや、河内晩かん果皮の抗うつ作用の解析などの報告もあった。

連携事業は、教育・研究の充実を図り社会に貢献することを目的に10年度に始まり、これまでに28プロジェクトが採択された。

(永野孝佳)